

歩 ～あゆみ～

共生と創造 ～ あじさい看護福祉専門学校の教育理念 ～

あじさいは、性質の異なったひとつひとつの花が集まって一輪の花となる。

人もまた人として生まれ、人間となるために、社会、文化の影響を受けて自らも構成員として環境を創造していく。これはあたかもあじさいが、陽光や水を受けて、土壌(環境)の変容を受け止め、その色や形が自在に変化していく様にも似ている。花は水の青になじみ、誰にも好かれ、和をもって一輪の花となる。看護・介護もまた、人と人との出会いではじまり、共に生き、創造していくものである。

学生はあじさいの如く、人との交流を通して変容し、自己の内にエネルギーを育んでいく。

そして、将来個人との相互交流を豊かにし、個人に応じた看護・介護が創造できるエネルギーを持ち続けることが重要である。

ここに共生と創造を謳う。

なお、あじさいは美濃加茂市の花である。

熱戦！あじ輪ピック～スポーツ大会開催～



Contents

- ▼ スポーツ大会開催
- ▼ 学科の出来事
 - 看護:2年生 健康教育実習
 - 介護:1年生 車椅子体験
- ▼ ギョーカイなう①②
- ▼ ころろ@あじさい
- ▼ 看護・介護に役立つ頭の体操
- ▼ 在校生からのメッセージ
- ▼ 入学試験のご案内

【大会実行委員長より】

10月1日(金)に開催されたスポーツ大会ではスポーツを通してあじさいの輪を広げ、普段なかなか深く関わることのない他学年・他学科の学生との絆を深めてほしいという願いを込めて「あじ輪(リン)ピック、～最高の仲間と最高の思い出を～」というスローガンを掲げました。

綱引きでは、団の皆と心をつなにし、一歩も引かせないという気合い

を持って取り組む姿が見られました。借り人競争ではお題に沿って質問に答えてもらったり、ものまねを披露してくれたりとたくさんの人の意外な一面が発見でき、笑い合える競技となりました。そしてバレーボールでは試合前にチームの仲間と円陣を組む姿が見られ、試合中は仲間を励ます声かけやポイントが入ったときにハイタッチをしたりと団結して行っている姿がとても

多く見られました。

今回のスポーツ大会を通して、普段関わりの無い学生同士でも協力できたと思います。このスポーツ大会をきっかけに今後の学生生活でも今まで以上に多くの学生が交流を深めていけたら良いと感じました。スポーツ大会の準備・運営に関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。(看護学科2年 渡辺愛子)

歩 ~あゆみ~

学科の出来事

看護学科 2年生 健康教育実習で小学校を訪問



看護学科2年生31名は、近隣市町村の小学校3校を訪問し、健康教育実習を行いました。

可見市立南帷子小学校を訪問したグループのテーマは「朝ごはんを三色(赤・黄・緑)バランスよく食べよう!」。アニメのキャラクターを使って工夫を凝らし、授業を展開。朝ごはんを食べることの大切さ・人間にとって大切な栄養素をバランスよく摂取することの重要性を伝えました。

「明日からは毎日バランス良く朝ごはんを食べてください!」と話す生徒からは「はい」と大きな返事が返ってきました。



介護福祉学科 1年生 車椅子体験



介護福祉学科1年生38名は、10月8日(金)に近隣市町村の各施設で車椅子体験を行いました。

「要介護者にとって、移動手段の一つである車椅子の適切な操作方法と具体的かつ必要な支援方法について、学内の学びと実践を結びつけ理解を深める」という目的を持ち、交通機関の乗り降り、公共施設やスーパー、レストラン等、車椅子で生活する方の行動を想定し、グループ毎に行程表を考え、課題を持って実際に体験を行い、多くの学びを得ることができました。

後日、障がいを持つ方が安心して暮らすことができる環境にはどのようなことが必要であるかを考え、発表しました。



ギョーカイなう① 在宅生活支援実習レポート

11月10日(水)、患者やその家族が病を語り合う交流の場を設けている加茂郡八百津町の南陽寺で在宅生活支援実習の一環として、在宅看護を受ける患者の家族から貴重な体験談を伺いました。

【参加した学生の感想】

お話のなかで、「病院から自宅療養へ移ることでやっていけるかどうか不安な気持ちがあったが、そういった時に訪問看護師さんが自分では気付かない事にもケアが行き届き支えられた」とさまざまな場面で訪問看護師さんの関わりがあり、サポートの大きさを感しました。またご家族の立場から病と向き合うまでの苦悩や、介護されたなかでの想いを知ることができ、看護師は患者様とご家族双方の想いに寄り添い、生きる力や希望を支えることが大切だと学ばせていただきました。

学びから、その後のホリスティック実習で患者さんやご家族の想いをより理解することができ、積極的に関わることができました。

(看護学科2年 横山有美)



ギョーカイなう② 緊急消防援助隊合同訓練レポート

10月16日(土)、可児市二野工業団地において行われた中部7県の緊急消防援助隊合同訓練に、本校学生20名が傷病者役ボランティアとして参加しました。

【参加した学生の感想】

私は「右胸部打撲及び皮下出血」要救助者役という設定で、マイクロバス内から担架で救助され、救急車で移送、治療を受けるまでを体験させていただきました。担架の上での長時間の抑制は視野が非常に狭く、孤独感と恐怖感でいっぱいになりました。そんな状況の時、看護師さんをはじめ救助隊の皆さんの「もう少しですからね、がんばりましょうね。」という言葉に気持ちが救われました。相手を思いやる声かけは患者を安心させ、気持ちを落ち着かせるということをもっと学びました。

(看護学科1年 谷本 宏美)



～Information～

看護教員なら読まない教員はいないと言われている看護教員向け雑誌「看護教育」(医学書院)12月号の特集『実践力向上の実習評価へ』に日本の看護教育の最先端をいく我が校の教育内容を紹介した記事が掲載されています。

教員によるリレーコラム 第2回 こころ@あじさい

11月11日は、2008年に厚生労働省において、『介護の日』と定められました。この日を『介護の日』とする理由は、『いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう』を念頭に、『いい日、いい日』にかけた覚えやすく、親しみやすい語呂あわせとしたからだそうです。

そして介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する日としています。この日を機会に、多くの人に介護のあり方について考えていただけたらうれしいです。

当学科では、人と人との関わりの中で豊かな人間性を育み、人々の望む生活を共に考え、実現できる介護福祉士を育てています。

介護福祉学科教務主任 田口 久美子



看護・介護に役立つ ★頭の体操★

数学

問. 250mlの点滴を2時間で終了したい。1分間に何滴で滴下したらよいか。(1ml=60滴)

国語

問. 下線の語句を、漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ①足をだぼくした。
- ②体力をしょうもうする。
- ③食物をよく咀嚼する。

答えは最後のページ、一番下にあります。

在校生からのメッセージ



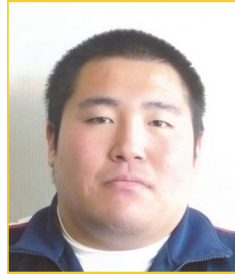
看護学科1年 古田 彩稀奈
出身高校/岐阜県立各務原高等学校

入学してから半年の間、この学校でいろいろなことを学ばせていただきました。座学では、生化学や解剖学など高校生のときには知らなかったような専門的なことを詳しく教えていただき、自分の知識にすることができました。実技演習では、シーツ交換や清拭、バイタル測定など、実際に病院で行う技術を先生方から細かく教えていただきました。最近では患者様のリラックスや安楽につながるアロマセラピーの講義がありました。アロマオイルを使ったマッサージの方法など、初めての体験でとても興味があり、楽しく学ぶことができました。

どの講義をとっても看護師になるために必要な知識と技術を学ぶことができます。その中で質問や疑問があるときは、自分でその問題が解決できるように先生方が導いてくださり、先輩方もアドバイスしてくださいます。同じクラスの仲間はとても仲が良くいろんな年齢の方もいて、学校生活やそれ以外のことも相談でき、毎日充実した生活を送っています。

支えてくれる周りの人達に感謝の心を忘れず、いつも笑顔で優しい看護師を目指して今後も頑張っていきたいです。

支えてくれる周りの人達に感謝の心を忘れず、いつも笑顔で優しい看護師を目指して今後も頑張っていきたいです。



介護福祉学科1年 佐藤 広大
出身高校/岐阜県立郡上高等学校

先日、授業の一環として車椅子体験を行いました。半年間学校で学んだ経験を活かして、学生自ら計画立案し、課題を持って取り組みました。

実際に体験してみると、「側溝の蓋に車椅子のキャスターがはまってしまうと一人では動けなくなる」、「店で棚の商品が見えても手が届かない」など私が考えていたよりも障害となることがまだまだ多くあることがわかり、車椅子を利用されている方の目線で考え、行動することの大切さを身を持って感じることができました。

バリアフリーやユニバーサルデザインが浸透し、以前よりはハード面で環境整備が進んできていますが、まだまだ不便なことは多く、車椅子を利用されている方が一人で安心して出掛けるにはハード面だけでは不十分だと感じました。

公的なもの、完成されてしまった環境は容易に変えることができませんが、私達にできる障がいをもつ方への支援を実践し、ソフト面の環境から改善していき、安心して暮らせる社会をつくっていける介護福祉士を目指しさらに頑張っていきたいと考えています。

入学試験出願期間・試験日程

看護学科

	願書受付期間	試験日
一般①	12月 1日～ 1月 7日	1月15日(土)
一般②	1月17日～ 2月14日	2月19日(土)
一般③	2月21日～ 3月 7日	3月12日(土)
社会人②	1月17日～ 2月14日	2月20日(日)
社会人③	2月21日～ 3月 7日	3月12日(土)

介護福祉学科

	願書受付期間	試験日
一般①	11月 1日～11月19日	11月28日(日)
一般②	11月22日～12月10日	12月18日(土)
一般③	12月13日～ 1月21日	1月30日(日)
一般④	1月24日～ 2月18日	2月27日(日)
一般⑤	2月21日～ 3月11日	3月19日(土)



学校法人あじさい学園 あじさい看護福祉専門学校

〒505-0022 岐阜県美濃加茂市川合町4-6-8

TEL: (0574)28-2131 FAX: (0574)28-2130

<http://www.ajisai.ac.jp>

携帯サイトは
こちらから

